

部 方 針 書

年度	部名	部長名
R7	農業委員会事務局	久村和行

1 部の経営方針（部全体を俯瞰したマネジメントの目標）

No	項目（業務、組織、人材等に関するマネジメント目標）
1	認定農業者等担い手への農地集積、遊休農地の解消、新規農業参入の促進等の農地利用の最適化活動に取り組み、本市の農業振興と土地利用の効率化を促進する。
2	R8年7月の農業委員、農地利用最適化推進委員の改選に向け、R7年度は委員の公募、選考などの業務を適正に行う。
人財育成・内部統制	職員に積極的な声掛けに取り組み、日常会話を通じて話しやすい職場環境を作るとともに、課題が生じた場合には、朝礼等を通じて課題を共有し職員一人ひとりの意見を参考にしながら解決に取り組む。事務処理方法等に対して、常に根拠法令に基づいているか、社会情勢の変化に対応した方法かなどを確認し、疑問点があれば積極的に事務局内の職員に質問等することで、法に基づいた正確な事務処理を行うとともに事務の効率化、職員のレベルアップにつなげる

課 方 針 書

年度	課名	課長名
R7	農業委員会事務局	久村和行

1 課の使命

どのような責務を負っているか、存在理由

行政委員会として、農地法その他の関連法令に基づき、適正に農地関連事務を執行する。
認定農業者等担い手への農地集積、遊休農地の解消、新規農業参入の促進等の農地利用の最適化活動に取り組み、本市の農業振興と土地利用の効率化を促進する。

2 課の目標

	ありたい姿、達成したいこと(アウトカム)	関連計画	目標指標(単位)	最終目標値	R6実績(見込)	R7目標値	未来PJ
1	認定農業者等担い手に農地が集積され農業の効率化が進む	個別計画(農地等の利用の最適化の推進に関する指針)	農地の集積率 集積面積／市内の農地面積×100	(R14年度) 60%	23.1%	33.7%	—
2	担い手がいなくなった遊休農地を早期に発見し、優良な農地は、絶え間なく農作物の栽培に活用される	個別計画(農地等の利用の最適化の推進に関する指針)	市内の再生可能な遊休農地の面積	(R14年度) 0ha	44.5ha	38.8ha	—
3	農業への新規参入を希望する法人や個人に、遊休農地等の情報を提供し、就農が円滑に進むように支援する	個別計画(農地等の利用の最適化の推進に関する指針)	農業に新規参入した個人及び法人の年間の経営体数	(R14年度) 個人 1 法人 1	個人 2 法人 1	個人 1 法人 1	—
人財育成・内部統制	事務処理方法等に対して、常に根拠法令に基づいているか、社会情勢の変化に対応した方法かなどを確認し、疑問点があれば積極的に事務局内の職員に質問等することで、法に基づいた正確な事務処理を行うとともに事務の効率化、職員のレベルアップにつなげる						